

学校 教育 目標	自分大好き 友だち大好き 潮田大好き ~学校教育の基盤:人権教育(自尊感情・関係形成・多文化共生)				
	○ねばり強く問題解決に取り組み、学ぶ喜びを実感できる子を育てます。(自尊感情:知) ○規範意識をもち、自信をもって他者とよりよい関係を築くことができる子を育てます。(自尊感情・関係形成:徳) ○自らの健康に関心をもち、自分の生活に生かせる子を育てます。(自尊感情:体) ○潮田の町や人やものとかかわり、地域と共に生きる子を育てます。(関係形成・多文化共生:公) ○自国の伝統や文化のよさを知り、いろいろな国とのつながりを大切にする子を育てます。(多文化共生:開)				
学校 概要	創立 146 周年	学校長	緒方克行	副校長	佐野圭司
	児童生徒数: 690 人	主な関係校: 潮田中学校 下野谷小学校			
		2 学期制		一般学級: 21 個別支援学級: 4	

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
・「なりたい自分像」をもち、「今の自分」を見つめ直し、見通しをもちながら能動的に自分の未来を切り開いていく力 ・将来、活用できる知識技能 ・自他の良さを認め合い、互いに生かすことのできるコミュニケーション能力	潮田中学校 潮田小学校 下野谷小学校	夢をもって自立できる子 ○キャリア教育を軸にした教育活動の推進 ・社会とつながる学習を進め、人の生き方に触れたり、社会の仕組みに気づいたりできる授業を展開する。 ・子どもが日々の学習に取り組む中で、今や将来の生活につながることを実感できる授業を展開する。 ・3校の授業研究に参加し授業交流を推進するとともに、合同の研修を実施す

中期 取組 目標	○子どもが自信をもって学習や学校生活に取り組むことを通して、自尊感情を育む教育を推進します。 ・子ども自らが学力をバランスよく獲得し、定着することができるよう、問題解決的な学習や教科等の関連を図った指導を推進します。 ・子どもたちが成就感・自己有用感を味わうことができるよう、子どもの創意に基づく学習活動の展開を推進します。 ・潮田スタンダードに基づく秩序ある落ち着いた学習環境を構築し、安心して自己表出できる学習の場作りに努めます。 ・愛育会や共学舎の方々と協働しながら「まち」を題材とする学習を展開し、「まち」の良さを感じ、「まち」を愛する気持ちを醸成します。
-------------------------	--

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 担当 研究部	①高学年の一部教科担任制を実施する。②全職員、一人一回以上、研究授業を行う。③各学年に専科教員等を配置し、個に応じた指導の充実を図る。④地域人材を生かした放課後・休日学習支援を積極的に推進する。⑤ボランティア(共学舎)を積極的に導入し、学習支援をする。
豊かな心 担当 人権部・道徳部	①うしおだYYIに取り組み、外国につながる子どものアイデンティティの確立を図ったり、ちがいや多様性を認め、柔軟に受け止められる態度を身につけたりする。 ②学級の子どもの実態に合わせて道徳の授業を行い、自己を見つめ道徳的実践力を身につける。
健やかな体 担当 体育部	①学校保健委員会で歯みがきの習慣化への取組を推進する。(外部講師の招請 等)②学校説明会等で、保護者への協力を呼びかける。③体育学習や体育的行事の充実を図る。(研修の実施、特別委員会での検討 等)④委員会活動で体力向上への取り組みを企画する。(運動委員会 等)
特別支援教育 担当 特別支援教育部・コーディネーター	①個別支援学級の教室数を増やし、子どもたちの特性や発達段階に配慮した環境を整えていく。 ②子どもの特性を十分に把握し、それぞれに合った教材や指導方法を工夫するなど、個に応じたきめ細かい指導をしていく。特別支援教室の担当者として情報交換をし、適切な支援を行っていく。
キャリア教育 担当 研究部・総合部	①「横浜の時間」を中心に、地域で体験的に学ぶ機会を積極的に設け、他者とのかかわりの中で一人ひとりの自己有用感を高めるようにする。②「わかった」「できた」という思いをもち、「自分はやればできる」と感じられる授業づくりをめざし、自分に希望がもてるようにする。
児童指導 担当 児童指導部	①毎月児童の様子や潮田スタンダードについて振り返りをし、全職員が共通して指導にあたる。 ②毎週1回放課後に、児童指導連絡会をもち、学級や学年で発生した事案を出し合い対応について職員全体で共通理解を図る。
地域連携 学校運営協議会 担当 教務部	①潮田共学舎の4部門(見守り・学習サポート・読書サポート・環境整備)での学校支援が、充実した取組となるよう、定例会等で連携を図る。②学校運営協議会で決定した、「9年間で育てる子ども像『夢をもって自立する子』」の実現を目指して、各校で具体的な取組を計画実行していく。
外国につながる子どもへの支援 担当 国際教室	①国際教室での取り出し学習、来日間もない子どもの日本語指導等により、学習に自信をもてるようにする。②手紙・面談の翻訳や通訳などを行う。③放課後学習支援で、宿題のサポートを行う。④うしおだYYIを通して、子どもが、母国に誇りをもてるようにする。アイデンティティを確立させる。
いじめへの対応 担当 児童指導部・人権部	①児童事案に対し、迅速・的確に対応できるように児童専任、学年主任と連携を図り対応にあたる。 ②人権週間では、「様々な違いを受け止め、自他を認める」をテーマにしたり、うしおだYYIに参加して外国の文化に触れあったりして多様性を認める取り組みを行う。
人材育成・ 組織運営 (働き方改革) 担当 教務・メンター・研究部	①研修や研究(人権研修・重点研究・メンター研等)に職員が目的意識をもって参加し、自身のキャリアアップにつなげられるようにする。②月に一度、教務主幹会を実施し、ミドルリーダーのOJTを推進する。③自主的授業研究会を実施し、経験年数の浅い職員の授業力向上を目指す。